

～ All for one, One for all. ～



光の家

THE LIGHT HOUSE FOR THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設
東京光の家会報

— 205 号 —

2020 年 1 月 1 日発行

はじめに神は天と地とを創造された。地は形なく、むなしく、やみが淵のおもてにあり、神の霊が水のおもてをおおっていた。

神は「光あれ」と言われた。すると光があった。神はその光を見て、良しとされた。神はその光とやみとを分けられた。神は光を昼と名づけ、やみを夜と名づけられた。夕となり、また朝となった。

第一日である。

創世記第一章 一～五節



今年も、餅つき楽しいなあ～（心塾にて）

謹賀新年

新年のつとめ

Shōwa University

旧年中は当法人の社会福祉事業に対します格別なるご支援に、深く感謝致しております。昨年は皆様のご支援のもと、私どもの活動の節目となります。創立百周年を迎えることができました。

昨年度より本格的な取り組みを行っております「地域共生社会の実現」に向けた活動も、皆様のおかげをもちまして軌道に乗せることができ、心より感謝申し上げます。

本年も引き続き、地域社会の皆様へ信頼されるような活動を誠実にやりたいと考えております。

皆様方のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和二年 元旦

社会福祉法人 東京光の家

役・職員一同

保護者として思うこと

東京光の家保護者会 会長 船橋 敬



新年を無事に迎えることができ光の家の皆様へ感謝しております。二〇二〇年は節目の年、令和最初の新年、東京オリンピックの年、新たな飛躍の年と感じられます。光の家は一昨年末の田中前理事長の計報から早一年。混乱なく石渡理事長に引き継がれ、すぐさま理念継承が表明されたことは、保護者にとって何よりの安心でした。より一層の発展に導いて下さると信じております。悲しみの中でも神様に守られていると実感し、新たな年を迎えられました。あるセミナーで経営に重要な

のは普遍性と柔軟性という話を伺いました。「絶対に変えてはいけないものを守り続けなければいけないのが基本理念。それを変えたら会社はだめになる。あとは状況に応じ柔軟に変えていけばいい。間違えても立ち戻れる原点がしっかりしていれば大丈夫」まさにニーバーの祈り。普遍的の真理です。「主よ、変えられないものを受け入れる心の静けさと、変えられるものを変え、勇気と、その両者を見分ける英知を我に与えたまえ」光の家にとって守り続けるべき理念はキリスト教精神。光の家がそれを変えるはずはないとわかつていても、折に触れ理事長先生が、理念の重要性を伝えて下さる度、保護者は安心いたします。もう一つ印象に残っている話

があります。会社と社員の関係。生き残る企業は人を大事にする。人に、感謝、励まし、感動、誇りを与えられる企業は強い、という話。以前あるメーカーとの会で、その社員の皆さんが異口同音に「誇りは品質、目指すは安心安全」とおっしゃっていて感心したことがあります。仕事への誇りが感じられ、きつといい会社に違いないと思いました。光の家に最初に見学に行った時も、やはり職員の方々がまから同じような誇りを感じました。質の高いサービスに対する誇り、園生の生きがいと安心安全を守るプロ意識。ここにお世話になりたいと思った瞬間でした。光の家に入職した理由を職員さんに伺うと「みんな、いつも笑顔で挨拶してくれ、るじゃないですか、いいなと思います」私も、理事長先生はじめ職員の方々の笑顔を見ると心が和み不安や心配が一気に消されます。そして、ずっと変わ

らない「お任せ下さい」の二言に救われ感謝し続けております。そういえば、人材育成で大事な意外なことに愛嬌があるそうです。愛嬌があると人が寄ってきて、いろいろなことを話してくれる。困ったことや愚痴の中に発展への大きなヒントがあるそうです。愛嬌という性格になつてしましますが、笑顔あふれる風通しのいい環境も同義なのではないでしょうか。これからも、石渡理事長のもと、職員の方々の誇りと感動が、園生の喜びと笑顔が守られますことを祈り信じております。保護者は常に園に寄り添い、協力、応援し続けたいと思います。理事の皆様、評議員の皆様、地域の皆様、支援者の皆様のご支援に心より感謝いたしますと共に、一層のお力添えを賜れますようお願いいたします。





居ごこちの良いリビング



インテリアに囲まれた居室



施設内にある礼拝堂



亡くなった方への弔い



オランダのハレットベルグセンター
(高齢者コース：石渡理事長 2 列目左端)



オランダ 風車を背景に
(障害者コース：佐藤職員 2 列目右端)

ソウエルクラブ海外研修
ドイツ・オランダ
 令和元年十月二十三日～三十日
 (障害者コース 佐藤恭彦)
 (高齢者コース 石渡健太郎)
 令和元年十一月十三日～二十日

ドイツではフランクフルト、オランダではアムステルダムの子童福祉施設と障害福祉施設を計四か所訪問させていただきました。

ドイツの障害者施設（イーストエンド）で国籍、人種、宗教、社会的地位、身体的、精神的な障害に関わらず多種多様の方々

が利用しているという日本ではあまり耳にしたことがない環境の施設がありました。

様々な人種の障害者、スタッフが共に良好な関係を築けているという素晴らしいお話を聞くことができました。

お忙しい中、協力していただいたすべての方々に感謝して、光の家の利用者支援に活かしていきたい

たいと思います。

(光の家栄光園 佐藤恭彦)



今回は四ヶ所の高齢者の福祉施設であるナーシングホーム、グループホーム等を中心に視察しました。

その多くはキリスト教が母体となつていことにまず驚きを感じました。

そこでの支援内容はキリスト教の精神が基となつて個人の尊厳を尊重しながら利用者一人ひとりの今までの人生の歩みや生い立ちであつたりその背景を把握する作業を大切にしていました。

また、施設内のリビングや居室は、居ごこちの良い空間が演出されていて、まさに「人権モデル」が実践されていました。

東京光の家の基本理念は、キリスト教精神であり、「愛と奉仕の心で誠実な業務を」をしつかり実践していけば自ずと利用者個人の尊厳と人権を擁護することに繋がるのでないかということを、今回のキリスト教精神に根ざした欧州の施設見学を通して改めて感じました。



 (理事長 石渡健太郎)



今年のクリスマスは、光の家の創立百周年を記念する行事として迎えました。

第一部「礼拝」では、光の家の理事である相澤忠一先生よりご紹介を受け、元立教大学習キリスト教学科教授で、現在、上智大学特任教授でいらっしゃる月本昭男先生に記念講演の講師をお願いする事が出来ました。月本先生から

は、イエスの誕生を祝ったのが東方の博士と貧しい羊飼いであった意味が話されました。

博士たちはイエスとの出会いにより、権威や力のある人との出会いとは異なる道を選ぶようになり、羊飼いたちは貧しさの中で平和を告げられ喜びを与えられた。光の家もそのような場所である、というお話でした。



第1部「礼拝」月本先生記念講演



第2部「祝会」聖歌隊



第2部「祝会」秋元梅吉 合同劇



第3部「会食」クリスマス料理



第3部「会食」特別企画アメージンググレース

第二部「祝会」は、聖歌隊四十三名による温かな歌声で開会。続く演劇は四施設合同で、秋元梅吉先生から始まる光の家の百年を綴る『光の家ができるまで』を発表しました。新生園の演劇クラブが光の家百年の歴史を、最終幕では神愛園・栄光園・就労ホーム有志の園生も一緒に、現在の光の家の様子が生き生きと演じられました。

第三部「会食」は食事課による素晴らしいクリスマスメニューと、園生による朗読劇や合奏等の特別企画で楽しい

時を過ごす事が出来ました。東京光の家の新しい百年の始まりとして、神様に祝福されたクリスマスとなりました事に感謝しています。

(クリスマス委員長 塚田光子)



（日野市障害者差別解消推進条例）
日野市障害者週間イベント

令和元年十二月八日（日）日野イオンホール

十二月の第一週は障害者週間です。日野市でも障害福祉課を中心に市内の福祉関係の事業所が集まり、障害者週間の最後を飾るべく、各種体験コーナー等を分担し盛り上げました。障害者週間のシンボルカラーの黄色を身に着け、光の家もミュージックコーナー、無料マッサージコーナー、リングメモ作成コーナー

を担当しました。障害当事者だけでなく、地域の子供たちなど多くの皆様に参加していただき、イベントは大盛況のうちに終えることができました。このイベントで地域の方はもちろん、市内事業所との交流もでき、さまざまな「つながり」をこれからも大切に、光の家の役割を果たしていきたいと思えます。



リング通しを体験しました！



好評だった無料マッサージコーナー

（光の家の福祉教育活動）
小中学生の見学・職場体験

十月八日	日野第六小学校	二〇名
十月三十日	日野第二中学校	五名
十一月五日	旭が丘小学校	九十名
十二月二十日	大坂上中学校	六名

十月から十一月にかけて、日野市内の小学校からは、見学、同じく市内の中学校からは職場体験のために、光の家を訪れました。

見学では、アイマスクを着用した歩行、介助の体験や視覚障害者用の卓球やバレーボールを体験して頂きました。



アイマスク体験 こわいなあ～



目が見えなくても、マットを作れるんだ！

職場体験では、作業や体育の訓練や、就労の現場で、視覚障害の方々への支援を体験して頂きました。

普段なかなか体験する事のない視覚障害の世界と、その方々を支援する難しさなどを肌で感じる良い機会となったのではないのでしょうか。

利用者の声

2020年の抱負

今年も一生懸命 頑張ります!

光の家新生園 古川 さつき

好きなものを買えるように 仕事を頑張ります

光の家栄光園 天野 京子

百歳目指して 頑張ります

光の家神楽園 浅井 まます

私の頑張りたいこと

光の家就労ホーム 米田 紗綺

私の今年の目標は、生活訓練で浴室手前にある脱衣室の掃除をできるようにすることです。掃除機を掛け、拭き掃除をし、個室のトイレ掃除も行います。

また今までと同じように、音楽活動を頑張りたいと思います。素敵な演奏ができるように、皆と一生懸命練習していきたいです。



たきび祭でも素敵な演奏を披露しました!



お仕事がんばります!

缶バッチやリサイクルの仕事をしています。来年は名刺箱折りやお菓子箱の折りの仕事をしたいです。好きなお菓子がいっぱい買えるように頑張りたいです。くまさん好きですが、子年なので、ネズミさんグッズも集めたいです。



まだまだ長生き!

私は大正十三年生まれで、今年九十六歳になります。私も若い人が何人も亡くなり、寂しいです。大正、昭和、平成、令和と四つの時代を生きてきました。光の家の美味しいご飯を沢山食べて、百歳目指して頑張りたいと思います。



笑顔でがんばります!

二〇二〇年の私の目標は、カナンで行っているスペシャルランチの食材の計量を正確に行えるようにすること。ダイレクトメール作業で行っているラベル貼りで、曲がってしまったりしないように綺麗に貼れるようにすることです。後輩もたくさんいるので、お手本になれるように頑張ります。



親身になって

光の家マッサージホーム

山田 実



昨年は大きな台風が関東にも何度も被害をもたらし、十月からは消費税も上がり、マッサージの客足にも大きく影響しています。閉店するマッサージ店が多い中、設備が整った環境で仕事できて幸せです。

五十歳を過ぎて体力の衰えを感じはじめて、患者さんの痛みや辛さが少し分かるようになってきました。

今年は患者さんの訴えを親身に聞いて、満足してもらえる治療ができるように頑張ります。



新しいロゴが付いた看板前にて

新しい生活を始めて

光の家グループホーム

井野 清一



出かけることが大好き！

今年度から光の家グループホームに入居し、自立した生活に向けて様々な事にチャレンジしています。一番の変化は同行援護が使える事で、ヘルパーと一緒に通院や買い物、様々な手続きなども行っています。まだまだいろいろな事が出来る可能性があるので、先輩たちを見習い頑張ります。



パラバドミントン応援

十一月十五日(金)~十七日(日)

代々木第二体育館

「パラバドミントン国際大会 二〇一九」に、光の家利用者、職員が参加させて頂きました。

日野市出身の山崎悠麻選手を、日野市で応援しようという事で、大坪市長も来場し、ともに精一杯応援しました。



がんばれ！
パラバドミントン山崎選手！



大坪日野市長も一緒に
応援しました！

寄付者名簿

令和元年十二月十八日

十二月十六日



大河内 陽介様	りんご	一〇個
土屋 正和様	ラ・フランス	二八個
井川 幸雄様	りんご	五〇kg
松橋 敬様	長芋	一〇kg
北原 武様	りんご	二二六個
浜口 宗武様	りんご	三〇個
株式会社リード・リアルエステート様		
トイレットペーパーニール		
ティッシュペーパー	一〇箱	
石川 紀子様	米	一五kg
河村 正様	りんご	五六個
佐藤 幸則様	米	六〇kg
	りんご	四二個

※紙面の写真は、すべてご本人の許可を得て掲載させて頂きました。



秋の外出行事 光の家就労ホーム

令和元年十一月八日(金)
デイズニーシー
ホテルミラコスタ

就労ホームでは百周年記念
日帰り旅行としてデイズニー
シーへ行ってきました。

ミラコスタホテルでの昼食で
は、ミッキーとミニーが会場に
登場し、利用者の皆さんは大興
奮。一緒に写真を撮ったりハグ

したりと、普段ではなかなかで
きない経験が出来、貴重な時間
を持つことが出来ました。

デイズニーシーではアトラク
ションやパレードを楽しみ、もつ
と遊んでいた気持ちに後ろ髪
をひかれましたが、明日の英気
を養う良い旅行となりました。



こんな近くでミッキーに会えて
嬉しいなあ～



ミラコスタでミッキーと



水上をレッツゴー



トイ・ストーリー楽しかった～

練馬区立旭丘小学校 光バンド演奏会

十二月二十日(金)

全校生徒約百八十名の皆さ
んに集まっていたきました。

事前にリクエストを頂いてい
た「世界がひとつになるまで」
や、現在大人気の「パプリカ」
など、一緒に歌ったり踊ったり
してくれて、大盛り上がり
の演奏会となりました。



パプリカを
一緒に踊りました！



伸びのある歌声で会場を魅了

光の家の ゆく年くる年

光の家の大晦日の夕食は、年
越しそばとネギトロ丼が根強い
人気で、定番メニューです。

明けて、元旦は伝統のお節料
理で、皆で新年を喜びます。



光の家の豪華なおせち料理



大晦日の
年越しソバと
ネギトロ丼



発行 〒一九一〇〇六五
東京都日野市旭が丘一七
社会福祉法人 東京光の家
電話 〇四二(五八二)三三
FAX 〇四二(五八二)九五
六八